



鋼管・塩ビ管用

青銅製メカニカル継手

MJ

- 鋼管のねじ切、継手部品の分解不要
- 強力で確実な抜け出し防止機能
- ナット締付時、管や接続器具の共回りなし



J W W A G-578・234



素敵な創造 ~人へ・未来へ

株式会社 日邦バルブ



特 長

●鋼管のねじ切作業や継手部品の分解不要

手間がかかり、管の強度や防食性能劣化の原因ともなりやすい鋼管のねじ切や、継手部品を分解する必要がありません。管（鋼管には専用の管端コアを装着）を継手に差し込み、ナットを締付けるだけの作業です。また、管を継手本体の内壁に突き当たるまで挿入する為、管の差し込み寸法が一定となり、確実に簡単な施工ができます。

●塩ビライニング・ポリエチレン粉体ライニング鋼管兼用の防食用管端コア付

鋼管には専用の管端コアを装着できますので、防食性に優れます。

管端コアは、管に装着した状態で前進できる構造ですので、パッキンを十分に圧縮する為、高いシール性能が得られます。VD・PD用にはコアが付属しています。（SN型を除く）



●強力で確実な抜け出し防止機能

ナットを締め込むことにより、ロックリングが縮径して管に食い付き、管の抜け出しを防ぎます。また、ロックリングには耐食性・耐久性に優れた材質（耐脱亜鉛黄銅）を使用しております。

●管や器具の共回り無し

ナットとカラーの間のバックシートが、ナット締め込み時の摩擦抵抗を減らしてロックリングの共回りを防ぎます。外面の被覆等を傷つけることなく確実に管に食い付くと同時に、管の共回りも防止できる為、接続されているナットの緩みや、器具の緩み・傾き・倒れ等を防止します。

●優れた耐食性・耐久性

継手本体・ナット等の主要部品は、耐食性・耐久性に優れた青銅製です。

●異種管接合・漏水修理・既設管からの分岐に対応 SN型

ストッパーなし、管の中通しができるSN型内ねじチーズ・ソケットを品揃え。（管端コアは付きません。別途防錆施工をしてください。）

性 能

- 負圧試験：内部を-54kPaまで減圧して2分間保持した時、空気の吸い込み、その他の異常なし。
- 低水圧試験：継手に長さ500mm以上の管を接合し、内部に0.02MPaの水圧を加え2分間保持した時、漏れ、その他の異常なし。
- 水圧試験：継手に長さ500mm以上の管を接合し、内部に徐々に水圧を加え、2.5MPaにて2分間保持した時、漏れ、その他の異常なし。
- 曲げ水圧試験：2°傾けて接続した試料を支持台に固定し、内部に2.5MPaの水圧を加えて2分間保持した時、漏れ、その他の異常なし。
- 引張試験：継手と管を接合し、引張試験機により毎分10mmの速さで引っ張り、継手の抜け出し阻止力を調べる。

抜け出し阻止力

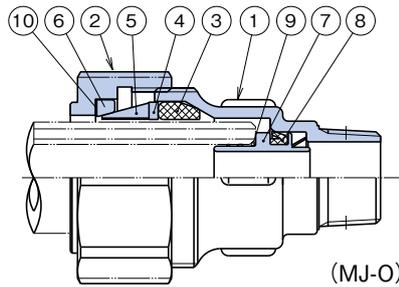
単位：KN

管種	13	20	25	30	40	50
VD	15以上	19以上	30以上	36以上	43以上	48以上
PD	10以上	13以上	16以上	25以上	30以上	35以上
SP	10以上	15以上	17以上	23以上	30以上	36以上
VP	5以上	7以上	10以上	13以上	18以上	23以上

※接続用袋ナットを標準締付トルクで締付けた場合の数値です。

- 浸出性能：浸出性能試験により、基準に適合。

構造・主要寸法



■主要部品表

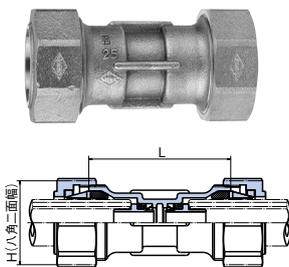
品番	部品名	材質
1	本体	CAC911
2	接続用袋ナット	青銅鑄物
3	パッキン	NBR
4	ワッシャ	SUS304
5	ロックリング	耐脱亜鉛黄銅
6	カラー	SUS304
7	管端コア (SN型を除くVD・PD用に付属)	PE
8	コア用パッキン	NBR
9	コア用Oリング	NBR
10	バックシート	PTFE

管種記号 ・VD:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管D(外面 硬質塩化ビニル被覆)
 ・PD:水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管D(外面 ポリエチレン被覆)

・SP:VA・VB・PA・PB等外面が樹脂で被覆されていない水道用鋼管
 ・VP:水道用硬質塩化ビニル管

品揃え

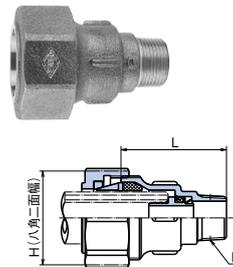
ソケット MJ-S



■主要寸法表

記号		mm	
呼び径・管種	記号	H	L
20	VD・PD	57	94
	VP・SP	65	97
30	VD・PD	76	103
	VP・SP	84	106
40	VD・PD	84	106
	VP・SP	79	106
50	VD・PD	95	111
	VP・SP	92	111

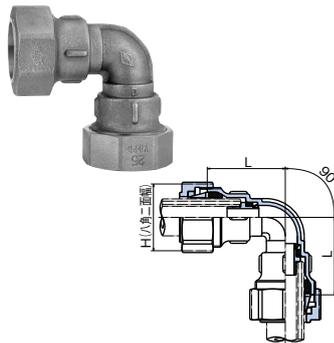
おねじ MJ-O



■主要寸法表

記号		mm		
呼び径・管種	記号	L	D	H
13	VP	60.5	R $\frac{1}{2}$	46
	SP	60.5	R $\frac{1}{2}$	46
20	VD・PD	62.5	R $\frac{3}{4}$	57
	VP・SP	62.5	R $\frac{3}{4}$	52
25	VD・PD	66	R1	65
	VP・SP	66	R1	59
30	VD・PD	72.5	R1 $\frac{1}{4}$	76
	VP	72.5	R1 $\frac{1}{4}$	72
40	VD・PD	74.5	R1 $\frac{1}{2}$	84
	VP・SP	74.5	R1 $\frac{1}{2}$	79
50	VD・PD	80.5	R2	95
	VP・SP	80.5	R2	92

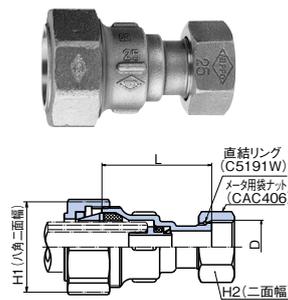
エルボ MJ-L



■主要寸法表

記号		mm	
呼び径・管種	記号	H	L
13	SP	46	62
	VD・PD	57	65
20	VD・PD	57	65
	VP・SP	52	65
25	VD・PD	65	71
	VP・SP	59	71
30	VD・PD	72	84
	VP	72	84
40	VD・PD	84	89
	VP・SP	79	89
50	VD・PD	95	96
	VP・SP	92	96

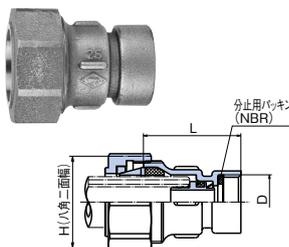
メータ用 MJ-M



■主要寸法表

記号		mm			
呼び径・管種	記号	L	D	H1	H2
13	SP	63	G $\frac{3}{4}$	46	31
	VD・PD	67.5	G1	57	38
20	VD・PD	67.5	G1	52	38
	VP・SP	71	G1 $\frac{1}{4}$	65	47
25	VD・PD	71	G1 $\frac{1}{4}$	59	47
	VP・SP	71	G1 $\frac{1}{4}$	59	47
30	VD・PD	78.5	G1 $\frac{1}{2}$	72	54
	VP	78.5	G1 $\frac{1}{2}$	72	54
40	VD・PD	84.5	G2	84	66
	VP・SP	84.5	G2	79	66
50	VD・PD	92	G2 $\frac{1}{2}$	95	83
	VP・SP	92	G2 $\frac{1}{2}$	92	83

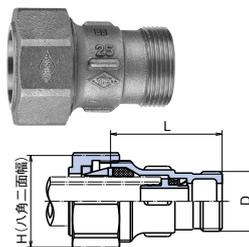
分止用 MJ-SS



■主要寸法表

記号		mm		
呼び径・管種	記号	L	D	H
20	VD・PD	59	G1	57
	VP・SP	62.5	G1 $\frac{1}{4}$	65
25	VD・PD	62.5	G1 $\frac{1}{4}$	59
	VP・SP	68	G1 $\frac{1}{2}$	72
30	VD・PD	74.5	G2	84
	VP・SP	74.5	G2	79
40	VD・PD	79	G2 $\frac{1}{2}$	95
	VP・SP	79	G2 $\frac{1}{2}$	92

塩ビ用(平行外ねじ) MJ-V



■主要寸法表

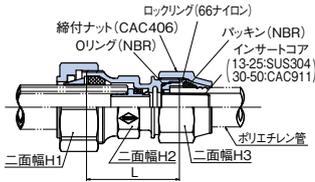
記号		mm		
呼び径・管種	記号	L	D	H
20	VD・PD	61.5	G1	52
	VP・SP	63	G1 $\frac{1}{4}$	59
40	VD・PD	74.5	G2	79
	VP・SP	78	G2 $\frac{1}{2}$	92

ポリエチレン管用NSP異種管ソケット MJ-NSP-S

■主要寸法表

記号		mm			
呼び径・管種	記号	L	H1	H2	H3
13	VP	58.5	46	28.5	38
	SP*	58.5	46	28.5	38
20	VP・SP	63	52	35	45
	VD・PD	65.5	65	46.5	53
25	VP・SP	65.5	59	42	53
	VP	78.5	72	51.5	63
30	SP	78.5	72	51.5	63
	VD・PD	80.5	84	62.5	70
40	VP・SP	80.5	79	58.5	70
	VD・PD	82	95	75.5	88
50	VP・SP	82	92	71.5	88
	VP	63	46	28.5	45
13×20P	VP	63	46	28.5	45
16×20P	VP	63	46	28.5	45
16×13P	VP	58.5	46	28.5	38
20×13P	VP・SP	58.5	52	35	38

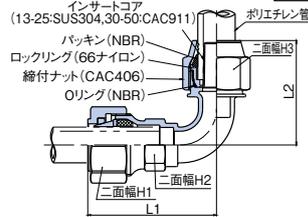
*13 SP: 16 VPに使用できます。



ポリエチレン管用NSP異種管エルボ MJ-NSP-L

■主要寸法表

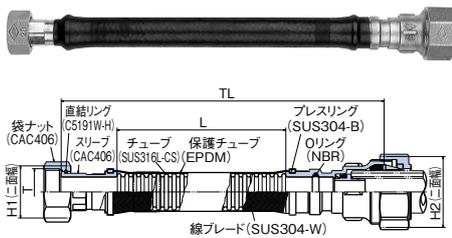
記号		mm				
呼び径・管種	記号	L1	L2	H1	H2	H3
13	VP	95.5	67	46	28.5	38
	VP・SP	96.5	77	52	35	45
25	VP・SP	104.5	85	59	42	53
	VP	115	91	72	51.5	63
30	SP	115	91	72	51.5	63
	VP・SP	120.5	99	79	58.5	70
40	VP・SP	120.5	99	79	58.5	70
	VP・SP	130.5	112	92	71.5	88
16×13P	VP	95.5	67	46	28.5	38



メカ継手付フレキ NF-MJ

■主要寸法表

記号		mm						
呼び径・管種	記号	H1	H2	T	呼び	山数	TL	L
20	VP	38(六角)	52	G1	11	535	400	
	SP	38(六角)	52	W33.0	14	405	270	
25	VP	47(六角)	59	G1 1/4	11	738	600	
	SP	47(六角)	59	W39.0	14	413	275	

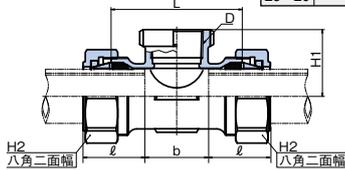


SN型

内ねじチーズ SN型 MJ-TI-SN

■主要寸法表

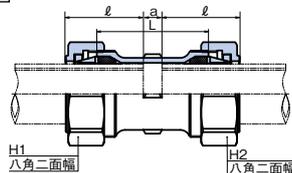
記号		mm					
呼び径・管種	記号	L	D	H1	H2	ℓ	b
VP・SP	40	117	Rc1 1/2	60	79	55	57
	50	133	Rc2	71	92	55	73
	50×40	122	Rc1 1/2	66	92	55	57
	25×20	94	Rc 3/4	44	59	55	33



ソケット SN型 MJ-S-SN

■主要寸法表

記号		mm					
呼び径・管種	記号	L	H1	H2	ℓ	a	
20	VD・PD	75	57	57	53	19	
	VP・SP	75	52	52	53	19	
	VD・PD×VP・SP	75	57	52	53	19	
25	VD・PD	80	65	65	54.5	19	
	VP・SP	80	59	59	54.5	19	
	VD・PD×VP・SP	80	65	59	54.5	19	
30	VP	80	72	72	57	15	
	VD・PD	90	84	84	62.5	15	
40	VP・SP	90	79	79	62.5	15	
	VD・PD×VP・SP	90	84	79	62.5	15	
	VD・PD	100	95	95	65	20	
50	VP・SP	100	92	92	65	20	
	VD・PD×VP・SP	100	95	92	65	20	



ソケット・エルボ・内ねじチーズSN型・ソケットSN型の接続仕様

管種	接続仕様
VD・PD用	VD×VD・VD×PD・PD×PD
VP・SP用	VP×VP・VP×SP・SP×SP
VD・PD×VP・SP用	VD×VP・PD×VP・VD×SP・PD×SP
SP用	SP×SP
VP用	VP×VP

施工方法

鋼管(VD・PD・SP)の接合		塩化ビニル管(VP)の接合																															
<p>1 管を切断する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管を管軸に直角に切断した後、やすり等で面取りやバリ取りを行ってください。 2. 管の内外面に付着している切粉や泥等の異物をウエス等でよく拭き取ってください。 		<p>1 管を切断する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管を管軸に直角に切断した後、やすり等で面取りやバリ取りを行ってください。 2. 管の内外面に付着している切粉や泥等の異物をウエス等でよく拭き取ってください。 																															
<p>2 専用管端コアを取り付ける</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管の先端が管端コアのツバに当たるまで、確実に押し込んでください。 2. コアが入りにくい場合は、プラスチックハンマー等でたたいて装着してください。 		<p>2 継手に管を差し込みマーキングする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 継手の接続用袋ナットを緩めた状態で(ナットを取り外す必要はなし)継手本体の内壁に突き当たるまで管を差し込んでください。 2. その状態でナットの端面を目安に、管にマジック等でマーキングしてください。 																															
<p>3 継手に管を差し込み仮締めする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 継手の接続用袋ナットを緩めた状態で(ナットを取り外す必要はなし)継手本体の内壁に突き当たるまで管を差し込んでください。 2. 管を保持しながら、手で仮締めしてください。 		<p>3 管を若干戻してから仮締めする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管を4～5mm程度戻してください。 2. 管を保持しながら、手で仮締めしてください。 																															
<p>締付けにより管が引き込まれるため、塩化ビニル管(VP)では4～5mm突き当てより戻した位置で締付ける。鋼管(VD・PD・SP)は管端コアが吸収するので不要。</p>																																	
<p>4 本締めする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レンチ等を使用し、下記標準締付トルクを参考に本締めしてください。 <p style="text-align: center;">標準締付トルク</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>トルク(N・m)</th> <th>呼び径</th> <th>トルク(N・m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>80</td> <td>40</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>80</td> <td>50</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径	トルク(N・m)	呼び径	トルク(N・m)	13	80	30	100	20	80	40	100	25	80	50	120	<p>4 本締めする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レンチ等を使用し、下記標準締付トルクを参考に本締めしてください。 <p style="text-align: center;">標準締付トルク</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>トルク(N・m)</th> <th>呼び径</th> <th>トルク(N・m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>50</td> <td>30</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>60</td> <td>50</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径	トルク(N・m)	呼び径	トルク(N・m)	13	50	30	80	20	60	40	80	25	60	50	100
呼び径	トルク(N・m)	呼び径	トルク(N・m)																														
13	80	30	100																														
20	80	40	100																														
25	80	50	120																														
呼び径	トルク(N・m)	呼び径	トルク(N・m)																														
13	50	30	80																														
20	60	40	80																														
25	60	50	100																														

⚠ 注意

- 管種や呼び径を確認し、適合する継手をご使用ください。
- ねじ部や、管端部等は鋭利になっている場合がありますので、手袋をして作業をしてください。
- レンチ等の工具は、スパナ掛けに掛けて締付けてください。
- 締付けは、標準締付トルクを参考に適正トルクで締付けてください。

〈SN型の施工について〉

SN型はストッパーが無い為、管の中通しができます。管端コアは付きません。

異種管接合、漏水箇所の切り取り修理、取り出し分岐等にご使用ください。

施工時の注意事項

- 継手は分解せず、袋ナットを緩めた状態で管に差し込んでください。但し、既設管の状態により、中通しがスムーズにできない場合があります。その際は、管を軽く差し込んだ後、袋ナットを緩め、中の部品（ロックリング・ワッシャ・パッキン）を個別に通してください。
- 接続後、呑み込み線がずれていないか、目視確認を必ず行ってください。（5mm以内のずれは、性能上問題ありません。）

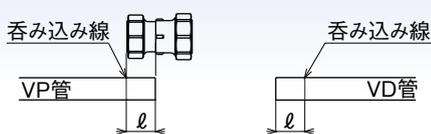
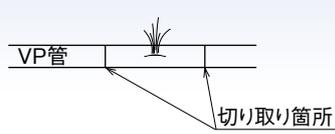
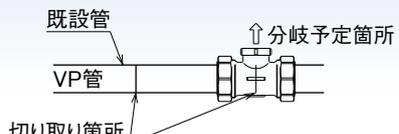
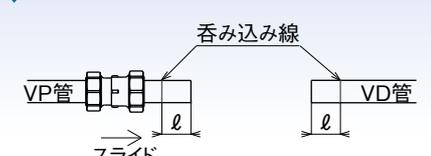
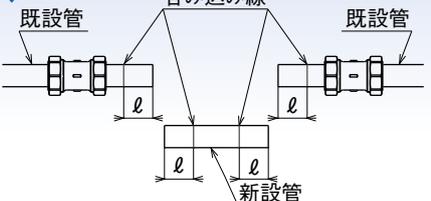
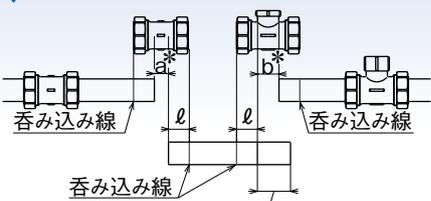
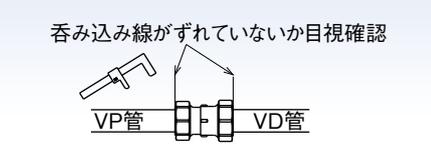
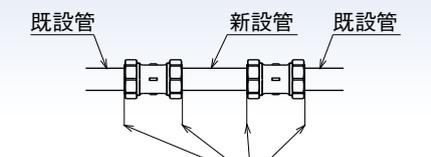
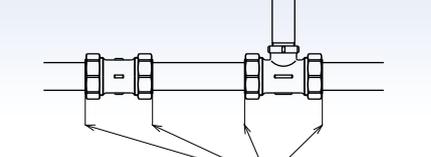
呑み込み代 l

mm

種 類	呼び径	20	25	30	40	50	25×20	50×40
内ねじチーズSN型		—	—	—	55	55	55	55
ソケットSN型		53	54.5	57	62.5	65	—	—

- 鋼管の管端には、防錆用の樹脂塗装等、防食処理を施してください。

ご使用例

異種管接合 VP×VDの場合 <small>〔 MJ-S-SN、VD・PD×VP・SP用 1個使用 〕</small>	漏水箇所の切り取り修理 <small>〔 MJ-S-SN、VP・SP用 2個使用 〕</small>	取り出し分岐 <small>〔 MJ-TI-SN、VP・SP用 1個 及びMJ-S-SN、VP・SP用 1個使用 〕</small>
<p>1 パイプに呑み込み線を書く。 継手中央スパナ掛け部の端にパイプの切断面を合わせて書く方法もあり。（下図参照）</p> 	<p>1 漏水箇所の切り取り。</p> 	<p>1 切り取り箇所が分岐予定箇所で軸となります。まず軸を決め、切り取り作業を行う。</p> 
<p>2 継手の袋ナットを緩めてパイプに差し込む。</p> 	<p>2 既設管及び新設管に呑み込み線を書いた後、両側既設管に継手を中通しする。</p>  <p><small>*新設管に継手2個分以上のスペースがあれば新設管に中通しすると、より施工が簡単になります。</small></p>	<p>2 呑み込み線を書いた後、既設管に継手を中通しする。</p>  <p><small>呑み込み線 a^*+b^*を切り落とす *a*及びb*の寸法は、2ページを参照</small></p>
<p>3 継手を呑み込み線に合わせ、標準締付トルクを参考にレンチで締付けて完了。</p> 	<p>3 継手を呑み込み線に合わせ、標準締付トルクを参考にレンチで締付けて完了。</p> 	<p>3 ソケット、チーズの順にスライドさせ、標準締付トルクを参考に締付けて完了。</p> 

青銅製メカニカル継手 MJ



品揃え

呼び径	管種	種 類										
		ソケット MJ-S	おねじ MJ-O	エルボ MJ-L	メータ用 MJ-M	分止用 MJ-SS	塩ビ用 (平行外ねじ) MJ-V	ポリエチレン管用 NSP異種管ソケット MJ-NSP-S	ポリエチレン管用 NSP異種管エルボ MJ-NSP-L	メカ継手付フレキ NF-MJ	内ねじチーழ SN型 MJ-TI-SN	ソケット SN型 MJ-S-SN
13	VD・PD											
	VP		★					★	★			
	SP		★	★	★			★		★		
20	VD・PD	★	★	★	★	★						★
	VP・SP		★	★	★		★	★	★	★		★
	VD・PD×VP・SP											★
25	VD・PD	★	★	★	★	★		★		★		★
	VP・SP		★	★	★	★	★	★	★	★		★
	VD・PD×VP・SP											★
30	VD・PD	★	★									
	VP		★	★	★	★		★	★			★
	SP			★				★	★			
40	VD・PD	★	★	★	★	★		★		★		★
	VP・SP	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★
	VD・PD×VP・SP											★
50	VD・PD	★	★	★	★	★		★		★		★
	VP・SP	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★
	VD・PD×VP・SP											★
異 径								13×20P VP用★ 16×13P VP用★ 16×20P VP用★ 20×13P VP-SP用★	16×13P VP用★		25×20 VP-SP用★ 50×40 VP-SP用★	

仕 様

- 使用流体：水道水（常温）
- 使用圧力：0.75MPa以下

△ 注意

●仕様の範囲でご使用ください。範囲外での使用は、機能低下や、破損の原因となります。

認証登録

- 認証機関：（公社）日本水道協会
品質認証センター
- 適合性能：耐圧・浸出
- 認証番号：G-578・G-234(NF-MJ)

〈参考〉 適応管種の仕様と外径寸法

管の種類	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管D		水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管D		外面が樹脂で被覆されていない水道用ライニング鋼管				水道用硬質塩化ビニル管
	V	D	P	D	S P				
					VA	VB	PA	PB	
外面仕様	硬質塩化ビニル被覆		ポリエチレン被覆		一次防錆塗装	垂鉛めっき	一次防錆塗装	垂鉛めっき	—
内面仕様	硬質塩化ビニルライニング		ポリエチレン粉体ライニング		硬質塩化ビニルライニング		ポリエチレン粉体ライニング		—
準拠規格	JWWA K 116		JWWA K 132		JWWA K 116		JWWA K 132		JIS K 6742
外 径*1 ()内は、 外面被覆部 厚さ	呼 び 径	13〔15〕*2	21.7±0.5(1.5以上)	21.7±0.5(1.7以上)	21.7±0.5	21.7±0.5	21.7±0.5	21.7±0.5	18.0±0.2
		20	27.2±0.5(1.5以上)	27.2±0.5(1.7以上)	27.2±0.5	27.2±0.5	27.2±0.5	27.2±0.5	26.0±0.2
		25	34.0±0.5(1.2以上)	34.0±0.5(1.5以上)	34.0±0.5	34.0±0.5	34.0±0.5	34.0±0.5	32.0±0.2
		30〔32〕*2	42.7±0.5(1.2以上)	42.7±0.5(1.5以上)	42.7±0.5	42.7±0.5	42.7±0.5	42.7±0.5	38.0±0.3
		40	48.6±0.5(1.2以上)	48.6±0.5(1.5以上)	48.6±0.5	48.6±0.5	48.6±0.5	48.6±0.5	48.0±0.3
		50	60.5±0.5(1.2以上)	60.5±0.5(1.5以上)	60.5±0.5	60.5±0.5	60.5±0.5	60.0±0.4	

*1：ライニング鋼管の場合は、鋼管部の外径です。
*2：〔 〕内は、ライニング鋼管の呼びです。



素敵な創造～人へ・未来へ

株式会社

日邦バルブ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀 3 0 4 6

北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原 6 - 1 2 0

<https://www.nippov.co.jp/>

お問い合わせ先

東京支店	TEL.03-5338-2231	FAX.03-5338-2230
札幌営業所	TEL.011-232-0471	FAX.011-208-2260
仙台営業所	TEL.022-213-3177	FAX.022-213-3266
北関東営業所	TEL.0283-22-7547	FAX.0283-20-1069
神奈川営業所	TEL.042-741-7121	FAX.042-765-7157

松本営業所	TEL.0263-50-5221	FAX.0263-50-5222
名古屋営業所	TEL.052-735-6511	FAX.052-735-6510
大阪営業所	TEL.06-6210-2563	FAX.06-6210-2564
広島営業所	TEL.082-232-8117	FAX.082-232-8053
福岡営業所	TEL.092-472-5128	FAX.092-477-2057

ISO 9001・14001 認証取得

このカタログに記載した内容は予告なく変更することがあります。
また、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。